

オリンピック・パラリンピックの意義と役割

今回の学習内容

4年に一度開催されるオリンピックとパラリンピックが行われるようになった背景にはどのような理念があったのでしょうか。近代オリンピックを誕生させたクーベルタンとパラリンピックの原点ともいわれるスポーツ大会を行ったグットマンの思いを理解し、これからのオリンピック・パラリンピックの意義や役割について考えていきます。

ゲスト講師
大日方邦子

冬季パラリンピック
アルペンスキー金メダリスト

講師
杉山正明

(学習メモ執筆)

壇蜜 先生

今回は、パラリンピックに5大会連続出場し、チェアスキーで長野大会の滑降、トリノ大会の大回転で金メダルを獲得された大日方邦子^{おびなたくにこ}さんから、パラリンピックに参加した経験をもとにパラリンピックの印象やその魅力、そして参加して得たこと、これからのパラリンピックに期待することなどについてお聞きしながら、オリンピック・パラリンピックについて考えていきましょう。

自分にとってのオリンピック・パラリンピックとは

- 大日方さんのチェアスキーとの出会いと初めてのパラリンピック

オリンピック・パラリンピックの成り立ちと意義

- クーベルタンが近代オリンピックを開催しようとした思い
- グットマンが始めたスポーツ大会の理念とパラリンピックの意義
- 長野パラリンピックに参加して

これからのオリンピック・パラリンピックに期待すること

- これからのオリンピック・パラリンピックに期待すること
- オリンピック・パラリンピックを見る世界中の人々に伝えたいこと

■オリンピック復興のねらい

クーベルタンによって始められた近代オリンピックは、古代ギリシアで4年ごとに開催されていた古代オリンピックにおける「エケケイリア」という「オリンピックによる休戦」、つまりその期間は戦争をしないというモデルがきっかけでした。その理由としては、近代オリンピックは1896年に初めて開催されましたが、当時のヨーロッパでは、国家間の紛争が絶えず、多くの若者が戦争に駆り出されていく現状があったのです。クーベルタンは、イギリスの教育現場を視察に行ったときに、パブリックスクールの学生たちが積極的にかつ紳士的にスポーツに取り組んでいる姿に感銘を受け、スポーツを取り入れた教育改革を推進する必要があると考え、オリンピックの復興を思いついたと言われています。

■パラリンピックの誕生

パラリンピックの始まりは、イギリスのルードウィッヒ・グットマンが1948年の第14回ロンドン大会の開会式の日、イギリスのロンドン近郊のストーク・マンデビル病院で開催した16名の車いす使用者によるアーチェリー大会です。この日はちょうど、第14回ロンドンオリンピックの開会式の日でした。

グットマンはロンドン郊外のストーク・マンデビル病院国立脊髄損傷センターせきすいの所長で、第二次世界大戦で脊髄を損傷した兵士を治療する際にスポーツを取り入れて成果をあげていたのです。グットマンは、「失ったものは数えるな、残されたものを最大限に生かせ」という理念を導入し、若者たちに訴えかけ、生きる勇気と感動を与えたのです。

その後、この大会は毎年開催され、1952年にはオランダの参加を得て国際競技会に発展し、これが第1回国際ストーク・マンデビル大会となりました。

そして、1960年にはオリンピック開催地のローマで、国際ストーク・マンデビル大会が開催され、23か国からおよそ400人が参加しました。この大会が第1回パラリンピックといわれています。この大会は毎年開催され、第2回大会は1964年の東京大会に合わせて開催され、車いす使用者だけではなく、そのほかの障がいがある人たちも参加する大会となりました。

《ゲスト講師プロフィール》

大日方 邦子 (おびなた・くにこ) 冬季パラリンピック アルペンスキー金メダリスト

1972年東京生まれ。中央大学卒業後、NHK教育番組ディレクターを経て、2007年電通パブリックリレーションズ勤務。長野大会で日本人初の冬季パラリンピック金メダリスト。

●出場したパラリンピック冬季競技大会

リレハンメル1994パラリンピック／長野1998パラリンピック（金メダル1、銀メダル1、銅メダル1）／ソルトレーク2002パラリンピック（銅2）／トリノ2006パラリンピック（金1、銀2）／バンクーバー2010パラリンピック（銅2）

■パラリンピックの「パラ」の意味

パラリンピックの「パラ」の意味は、もともと脊髄損傷などの下半身まひを表す「パラプレジア (paraplegia)」でしたが、参加者層の拡大により、1960年に「並行な、もう一つの」という意味の「パラレル (parallel)」に置き換えて、「もう一つのオリンピック」とされ、パラリンピックとなりました。パラリンピックという言葉は、パラレル (もう一つの) とオリンピックの2語を合わせた言葉なのです。

